

3 茨城沿岸の概要

(1) 海岸線の現状

茨城沿岸は、福島県境から大洗町までの崖と砂浜が混在した海岸と大洗町から千葉県境である利根川までの長大な砂浜海岸から構成されている。北側半分の海岸は阿武隈山地を背後に控え、変化に富んだ海岸地形を持つ区間で、崖に囲まれた砂浜が連続する。一方、南側の 90 km 以上の延長をもつ長大な砂浜海岸は背後に砂丘が発達している。

(2) 津波の発生状況

茨城沿岸は地震の発生頻度が高い半面、大きな津波が来襲した記録がない。県下で津波による死者（36 名）がでたのは 1677 年に発生した房総東南沖を震源とする延宝地震津波の一回のみである。

実態調査結果によれば茨城沿岸に近年来襲した津波で最大のものは、チリ地震津波の約 3 メートルであるが、過去には延宝地震津波により 4m 以上の津波が来襲していたという研究成果もあり、また、既往調査によれば発生を想定し得る最大の津波高は、場所によって 6 m を越すという試算もある。

表 I - 3 現況施設の計画外力諸元

潮位	既往最高潮位（T.P. m）	+1.13
	朔望平均満潮位（T.P. m）	+0.7
	朔望平均干潮位（T.P. m）	-0.8
	計画偏差（m）	0.6
	計画高潮位（T.P. m）	+1.3
	設定年月日	S60 年度
波浪	沖波波高（m）	7.6
	沖波周期（m）	12.9
	波向	ENE
	設定年月日	S60 年度
計画堤防高（T.P. m）		+4.0 ~ +6.5
海岸保全施設整備事業内容		護岸、堤防、消波工、離岸堤、人工リーフ、ヘッドランド